

# 廃棄物処理施設見学バスツアーについて（平成24年度第1回）

栃木県環境森林部廃棄物対策課

## 1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、産業活動の健全な発展のため必要不可欠であり、特に中間処理施設は、先進的な設備や高度な技術により廃棄物の減量化やリサイクルを行うなど大切な役割を担っていますが、普段県民が目にするのが少ないこともあり、「迷惑施設」と捉えられることが多い施設です。

そこで、施設の必要性や安全性を説明していくことと共に、県民が廃棄物処理施設を直接見学する機会を提供するために、（財）栃木県環境保全公社と（公社）栃木県産業廃棄物協会と協力し、バスツアーを企画しました。

## 2 ツアーコンセプト

廃棄物がどのように中間処理され、どういった製品に生まれ変わるのか、資源が循環していく様子を通して、廃棄物処理施設の果たす役割を紹介しました。

また、廃棄物を排出する工場でのリサイクルの取組も併せて紹介しました。



## 3 実施日

8月24日（金曜日）

## 4 参加者

38名（うち小学生4名）

## 5 見学ルート

9:15 県庁出発

10:30～12:20 ㈱小松製作所

【小山市にある建設機械重要部品生産工場を見学、廃棄物の分別などの工夫を学んだ】

13:00～14:20 ㈱関東エコリサイクル

【栃木市にある廃家電リサイクルの施設を見学】

15:00～16:20 ㈱ダイセキ

【佐野市にある廃油の再生施設を見学】

17:30 県庁到着

## 6 当日の様子

- ・ 普段目にする事のない施設であったことから、参加者から多くの質問があり、施設側と活発なやり取りがありました。
- ・ アンケートでは、「処理施設に対する考えが変わった」、「栃木県でのリサイクル企業のたのしみさを感じた」といった意見の外、「普段見ることの出来ない施設が見られて良かった」、「こういった機会を増やして欲しい」等の意見がありました。

## 7 今後について

- ・ 年度内に2回開催予定です。
- ・ 詳細は（財）栃木県環境保全公社又は県廃棄物対策課のホームページでお知らせします。

# バスツアー アンケート結果

H24.8.27 廃棄物対策課

○ 参加者:38名      ○有効アンケート回答:38件

Q.1 性別を教えてください。 & Q.2 年代を教えてください。 (単位: 名)

男性	女性	~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~
17	21	4	0	0	5	9	16	4

Q.3 バスツアーをどのように知ったか。

図書館 など

友人に誘われて など

①県・公社 HP	②新聞記事	③掲示された募集案内	④栃木放送	⑤県民だより	⑥その他
9	9	4	0	12	4

Q.4 参加の理由は。(複数回答あり)

・自分が属する会の見学先を探す  
情報を得るため など

①環境・廃棄物に興味	②産廃施設見たことない	③その他
21	21	3

・説明の仕方がわかりやすかった  
・分別が徹底され、出来る事を最大限  
していて、見習う点が多々あった

Q.5 小松製作所について

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④その他
38	0	0	0

Q.6 関東エコリサイクルについて

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④その他
38	0	0	0

・サイクルがどのようにされているのかがよく分かった  
・リサイクル代金が役に立っていてうれしい

Q.7 ダイセキについて

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④その他
37	0	0	1

・廃油から B 重油を作っている事に驚いた  
・企業の取組に職人的なプライドを感じた  
・実験がおもしろかった

Q.8 今回のバスツアーは、環境や廃棄物を考えるにあたり参考になりましたか。

① 参考になった	② 参考にならなかった	③ どちらでもない	④ その他
38	0	0	0

Q.9 今回のようなバスツアーが開催された場合、また参加してみたいですか。

① 是非参加してみたい	② 参加してみたい	③ どちらでもない	④ 参加しない
30	8	0	0